

千葉市感染症発生動向調査情報

2026年 第35週 (8/24-8/30)

1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

定点	報告定点医療機関数			
	第35週	第34週	第33週	第32週
小児科	15	15	14	15
ARI(急性呼吸器感染症)	25	25	24	24
眼科	5	5	5	5
基幹	1	1	1	1

上段:報告患者数、下段:定点当たりの報告数

定点当たりの報告数:報告患者数件/報告定点医療機関数

定点	感染症	発生動向	8/24-8/30 第35週	8/17-8/23 第34週	8/10-8/16 第33週	8/3-8/9 第32週
小児科	RSウイルス感染症		3 0.20	3 0.20	2 0.14	2 0.13
	咽頭結膜熱		0 0.00	4 0.27	1 0.07	2 0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	20 1.33	16 1.07	18 1.29	19 1.27
	感染性胃腸炎	↓	31 2.07	34 2.27	23 1.64	40 2.67
	水痘		2 0.13	2 0.13	1 0.07	3 0.20
	手足口病	↓	43 2.87	49 3.27	23 1.64	97 6.47
	伝染性紅斑		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07
	突発性発しん		4 0.27	4 0.27	1 0.07	9 0.60
	ヘルパンギーナ	↑	18 1.20	6 0.40	6 0.43	17 1.13
	流行性耳下腺炎		2 0.13	0 0.00	0 0.00	2 0.13
	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↑	59 2.36	29 1.16	15 0.63	16 0.67
ARI	新型コロナウイルス感染症	↑	27 1.08	18 0.72	8 0.33	13 0.54
	急性呼吸器感染症		937 37.48	894 35.76	381 15.88	1,122 46.75
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	1 0.20	0 0.00	0 0.00
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	インフルエンザ入院		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	新型コロナウイルス感染症入院		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

※「発生動向」欄のマークについて

<流行状況>

★★:「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★:「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

<増減>:マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓:「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

2 全数報告対象感染症 6 件

感染症		性別	年齢層	感染症	性別	年齢層
結核	無症状病原体保有者	女	20歳代	腸管出血性大腸菌感染症	女	10歳未満
	無症状病原体保有者	女	60歳代	百日咳	男	20歳代
	無症状病原体保有者	男	60歳代		男	50歳代

結核3件(90)、腸管出血性大腸菌感染症1件(19)、百日咳2件(55)の発生届出があった。

※ ()内は2026年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

3 定点当たり報告数のコメント

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

前週より増加し1.33となった。年齢階級別の報告数は4歳及び5歳が最多。

＜感染性胃腸炎＞

前週より減少し2.07となった。年齢階級別の報告数は1歳及び2歳が最多。

＜手足口病＞

前週より減少し2.87となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

＜ヘルパンギーナ＞

前週より増加し1.20となった。過去5年の同時期と比べやや多い。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

＜インフルエンザ＞

前週より増加し、2.36となった。年代別の報告数は10歳未満(合計)が最も多く、10歳未満では6歳が最多。

＜新型コロナウイルス感染症＞

前週より増加し、1.08となった。年代別の報告数では10歳未満(合計)が最も多く、10歳未満では2歳及び3歳が最多。

＜急性呼吸器感染症＞

前週からほぼ変化なく37.48となった。年代別の報告数は10歳未満(合計)が最も多く、そのうち1-4歳が多かった。

■ 各感染症のグラフ、インフルエンザ発生状況は、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

・感染症発生グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2026.pdf>

・インフルエンザ発生状況

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/influ2026.pdf>

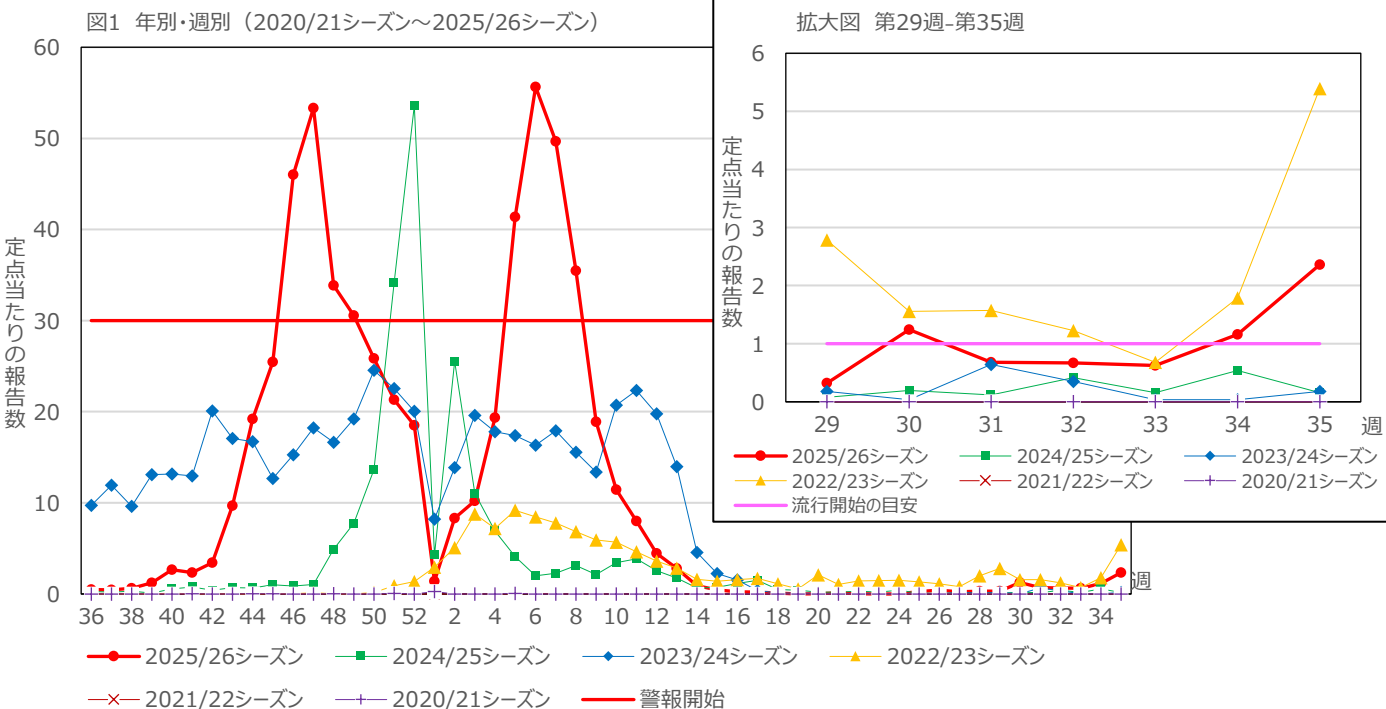
■ トピック ■

＜インフルエンザ＞

全国の2026年第34週時点の定点当たりの報告数は前週より増加し1.11となり、流行開始の目安とされる1.0を上回りました。過去5年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、沖縄県が4.43と最も多く、次いで岩手県が2.10、青森県が2.08の順となっています。千葉県は1.80で、全国と比べると多くなっています。

インフルエンザは例年第36週から翌年の第35週までを1シーズンとしています。

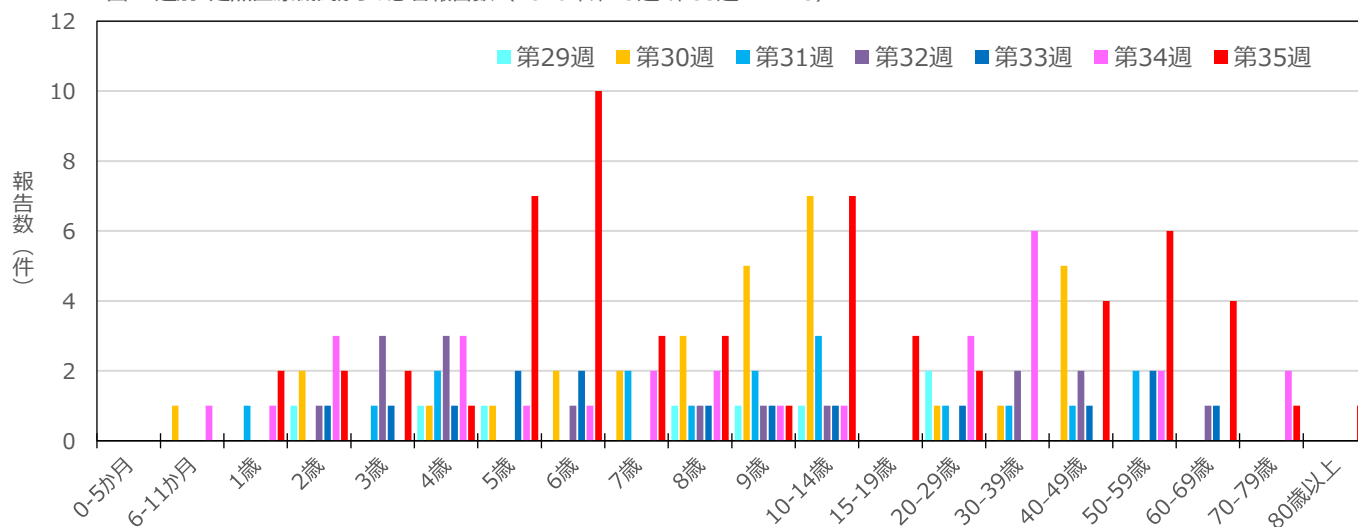
千葉市では、新型コロナウイルス感染症の流行が終息した後の2シーズン(2023/24シーズン、2024/25シーズン)は、第18週以降、翌シーズン開始前に流行開始の目安とされる1.0を上回りませんでした。2025/26シーズンは、翌シーズンが始まる前の第30週(1.24)に1.0を上回りました。その後減少しましたが、第34週(1.16)に再び1.0を上回り、第35週(2.36)は更に増加しました(図1)。



定点医療機関から報告された患者数は、第30週は9歳、10-14歳及び40-49歳が多くなっていましたが、第35週は5歳、6歳、10-14歳、40-49歳、50-59歳及び60-69歳が多くなっており、更に第34週以降では第30週では報告がなかった70歳以上の報告が認められました(図2)。

第35週(59件)における定点医療機関の協力による型別迅速診断結果は、A型が54件、B型が1件、未実施が4件でした。例年と比べ、流行開始の目安とされる1.0を上回る時期が早いことから、今後の発生動向に注意が必要です。

図2 週別・定点医療機関からの患者報告数(2026年第29週-第35週 n=175)



インフルエンザをはじめとする夏の感染症対策には、「換気」「手洗い・手指消毒」「咳(せき)エチケット」が有効です。インフルエンザは主に冬季に流行しますが、夏季でも締め切った空間などでは感染リスクが高まります。一般の家庭用エアコンは空気を循環させるだけで換気を行っていません。高温多湿の夏場においては、外気温の低い朝や夕方以降などに窓開けを行い、換気時間を多く取るなど、エアコンによる熱中症対策を優先しつつ、室温を上げずに適切な換気を行うことを推奨します。

また、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

詳細は、下記のリンク先をご参照ください。

夏の感染症対策(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kansentaisaku_summer.html

インフルエンザ(総合ページ)(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/index.html

インフルエンザを予防しましょう!(千葉市)

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/kenkokikikanri/influenza_prevention.html

※ 感染症発生動向調査とは、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療機関への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

＜参考＞千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>